

講演テーマ

いのちを たいせつに

2024年

3月20日(水・祝)

14:00~16:00(開場13:30)

会場 **レソラホール** (レソラ天神 5階)
福岡市中央区天神2-5-55

参加費 **無料** 定員 **150名**

主催 社会福祉法人福岡いのちの電話
社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団

後援 福岡県、福岡市、朝日新聞社、KBC

参加申込方法

お申し込みは、裏面に自殺予防公開講座希望と明記の上、住所・氏名を添えて下記までファックスかメールで申し込みください。当日お名前をお知らせください。

福岡いのちの電話事務局

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴2丁目7-7

FAX.092-721-4343 TEL.092-713-4343

E-mail: find4343@sirius.ocn.ne.jp



最新の情報はHPをご覧ください。

<http://www.f-inochi.org/>

講師 桂文我氏(落語家)

本名:大東幸浩(おおひがし ゆきひろ)
昭和35年8月15日、三重県松阪市出身
昭和54年3月、桂枝雀に入門。桂雀司を名乗る
平成7年2月、四代目桂文我を襲名

〔落語活動〕

現在、年間300回程の落語の高座をつとめる。大阪・東京・横浜・名古屋・京都・岡山・徳島をはじめ、各地で「桂文我独演会」「桂文我の会」を開催。また、子ども向けの落語会の「おやこ寄席」も各地で開催。

〔受賞〕

昭和58年、ABC落語漫才新人コンクール審査員奨励賞
平成3年、NHK新人演芸大賞優秀賞
平成6年、国立演芸場花形演芸会金賞
平成7年、国立演芸場花形演芸会大賞
平成8年、大阪市咲くやこの花賞
平成8年、国立演芸場花形演芸会金賞
平成9年、国立演芸場花形演芸会金賞
平成11年、国立演芸場花形演芸会金賞
平成15年、芸術選奨文部科学大臣新人賞
平成21年、芸術祭賞優秀賞
令和4年、水木十五堂賞

〔その他の活動〕

みえの国観光大使
松阪市ブランド大使
平成25年4月1日～相愛大学客員教授「上方落語論」講義を受け持つ
令和3年 東海テレビ番組審議委員



警察庁の自殺統計では、2022年の自殺者数は2万1,881人と前年と比べ874人増えました。
新型コロナウイルスの国内流行前は10年連続で減少する傾向が続き、2019年には2万169人となっていました。
コロナ禍の中で1,000人ほど増えたまま、いわゆる「高止まり」の状態が続いています。
男女別でみると、男性が前年比807人増の1万4,746人、女性は同67人増の7,135人で、
コロナ流行が始まった2019年に増えて以降、7,000人台で推移しています。
コロナ禍が長引いていることや、世界情勢が緊迫化したのに伴い経済状況が悪化し、
就労環境も一段と厳しくなったことが影響していると考えられ、これまで以上の自殺予防が求められています。
講師の桂文我氏は、1979年に桂枝雀氏に入門、1995年には四代目を襲名され、
しっかりじっくり聴かす古典派の落語家と言われ、全国各地で年間300回程高座をつとめておられます。
今回、多くの方が命の大切さを考えるきっかけになればと思い、「いのちをたいせつに」と題して、話していただきたいと思います。

FAX 092-721-4343

2024年3月20日(水・祝)

**自殺予防公開講座
いのちをたいせつに**

FAXの方は、ご記入の上、福岡いのちの電話事務局までお送り下さい。

参加申込書

※個人・団体グループ兼用です。

参加者①	参加者②
参加者③	参加者④
参加者⑤	参加者⑥
会社/団体名	
ご住所 〒 —	
電話 ()	—
FAX ()	—
携帯電話 ()	—
Eメール @	
備考	

1. 本申込書にていただいた個人情報は、講演会の開催目的以外には使用いたしません。
2. 資料や会場の準備の都合上、参加人数の把握が必要なため、事前の参加申し込みをお願いしております。
「参加申し込み」を頂いた段階で当方からの受理のお知らせがなくても入場可能です。